

# 長引く痛みはなぜ起こる？

PR

vol. 10

～新治療 さくがわクリニックのカテーテル治療～

文・佐久川 貴行(さくがわクリニック院長)

(第3週に掲載)



さくがわ・たかゆき

2021年9月、浦添市前田にさくがわクリニックを開院。モヤモヤ血管が原因で起こる長引く痛みで悩む患者さんに運動器カテーテル治療・動注治療を提供。放射線診断専門医。IVR(画像下治療)専門医・指導医。運動器カテーテル治療研究会・監事。

長引く痛みでお悩みの患者さんに運動器カテーテル治療・動注治療を提供する、浦添市前田のさくがわクリニック院長が、さまざまな疾患とその治療法について解説します。

## 繰り返す「痛風」発作の痛み

食生活の欧米化に伴い、痛風関節炎(以下、痛風)の患者数は増加傾向にあります。国民生活基礎調査によると、2022年時点、痛風で通院治療中の患者さんは130万人をこえると言われています。また、痛風の前段階である高尿酸血症(無症状)の患者数は痛風患者の約10倍とされており、非常に頻度の高い疾患と考えられます。痛風の患者数は30歳以上から増え始め、圧倒的に男性に多いです。女性ホルモンに尿酸排泄を促す働きがあるため、一般的に女性は痛風になりにくいとされています。

### 通常は1〜2週間で改善

痛風・高尿酸血症の原因はプリン体の多い食品(レバー、カツオ、白子など)の過剰摂取、アルコール摂取(特にビール)、肥満、ストレス、腎機能低下、遺伝などの組み合わせとされています。高尿酸血症は自覚症状に乏しいのですが、その状態が続くと、尿酸結晶が手指・足・膝などの関節にたまりやすくなります。それだけでは痛風発作は起きませんが、尿酸結晶の内部成分が外に漏れだすと、強い炎症が起きて赤く腫れ激痛が生じます。これが痛風発作と言われ、風が吹いただけでも痛みが生じるとされています。痛風発作の痛みは激しく、患

## 約5分で終わる新治療



部が赤く腫れ、熱感を伴います。足の親指の付け根に生じることが多いですが、手指・膝などの関節にも生じます。通常、急激な痛みは24時間以内にピークを迎え、1〜2週間かけて改善することが多いです。急激な痛みは消炎鎮痛薬を使って速やかに和らげることが一般的です。高尿酸血症や痛風発作の急激な痛みについては、まず内科(一般内科、膠原病・リウマチ科)や整形外科を受診して下さい。

### 発作を繰り返す場合は

痛風発作が起きて、通常1〜2週間かけて激痛は改善します。ただし、適切な薬物治療や生活習慣の改善によりコントロールがうまくいっているにも関わらず、数週間〜数か月という短時間で痛風発作を繰り返す人がいます。そういう人は、関節内に

たまった尿酸結晶の周囲に異常血管(モヤモヤ血管)が増え、慢性的な炎症を引き起こしている可能性があります。繰り返す痛風発作による長引く痛みで悩んでいる方は、新しい治療法(動注治療)を検討してもよいと思います。

足の動注治療は、足の甲または足首内側の動脈内に注射針を入れて投薬する治療です。注射針も極細のため、痛みを感じることがほとんどありません。片足のみであれば5分程度の手軽にできる治療法であり、初診でも当日治療を受けてご帰宅できます。治療後の日常生活に制限はありませんが、暴饮暴食など生活習慣の不摂生は控えるほうが良いです。繰り返す痛風発作による長引く痛みで悩んでいる多くの患者さんに、動注治療が届くように願っています。

※動注治療は、オクノクリニック(表参道・銀座・横浜)の奥野祐次院長が2014年に開発された治療で、年間4千件の治療実績があります。

## 長引く痛みへのカテーテル治療

当院は  
自費診療  
です

五十肩、ひざの痛み、へバーデン結節(指の痛み)、その他関節痛

## さくがわクリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~14:00	●	●	●	▲	●	★
午後 16:20~17:40	●	●	▲	●	●	／

●/外来・手術 ▲/不定期診療 ★/10:00~11:40

浦添市前田1丁目11番1号 1階

予約制 ☎098-877-5577

<https://www.sakugawa-clinic.com/>

